

SER no.030; あとがき

著者(英)	Yuki Konagaya
journal or publication title	Senri Ethnological Reports
volume	30
page range	221-222
year	2002-10-15
URL	http://hdl.handle.net/10502/1456

あ と が き

薩仁格日勒・小長谷有紀

私たちが初めて共同で行った調査の成果が『国立民族学博物館調査報告』として刊行されることになりました。原稿が完成し、肩の力が抜けて安堵するものの、一方では、やっと広大な海の岸辺にたどり着いたばかりで、まだ深遠な研究課題に足を踏み入れたにすぎないのだと感じています。青海省モンゴルに関しては様々な研究課題がありますが、この度、私たちはその中からほんの一部分を選んで、その目標を達成しました。しかし、一部とは言え、私たちは多大なる時間と労力を費やし、同時に数多のく方々から援助と協力を賜りましたことをここに記しておく必要があると思います。

先ず、2000年の夏、青海省の各地に赴き資料収集を行なった際、数々の便宜を図ってくださった現地の指導者や知人、多数の資料を提供していただいた高齢者の方々に感謝の意を表します。また、この調査に際して様々なご教示をいただき、ずっと関心を寄せてくださった国立民族学博物館の松原正毅教授に心よりお礼を申し上げます。日本における青海省モンゴルの研究情報を提供していただいた早稲田大学博士課程の学生チンゲルさん、モンゴル文字をコンピュータ入力してくださった内モンゴル社会科学院のウランゲレルさんの好意と協力にも感謝したいと思います。

2002年4月